



リアルタイム3DCGシステム

3D-NIXUS

3Dグラフィックからバーチャルスタジオまでパワフルに実現。
シンプルな操作感で、高精細な3DCGをリアルタイムに。

ニュースや情報番組のテロップ、スポーツ、気象、選挙放送など、あらゆる番組でインパクトのある3Dグラフィックをリアルタイムにオンエアできる、純国産の「リアルタイム3DCGレンダリングシステム」、それが3D-NIXUS(スリーディー ニクス)です。

CGの作成は、3ds Max、Mayaで。スケジューリングから送出までの操作もグラフィカル、かつシンプルに。高クオリティでありながら、デイリーでの使いやすさを追求しました。

日本製ならではの信頼性とカスタマイズ性の高さを兼ね備え、進化し続けるリアルタイム3DCG技術に柔軟に対応します。

さらにオプションで、ステレオ3Dテロップの送出や、放送向けARシステムとの連動も。新時代の放送に常に対応していきます。



リアルタイム3Dグラフィックの力を放送に。

3D-NIXUSは、ニュースや情報番組のテロップ、野球・サッカーなどのスポーツ番組や気象、選挙放送など、様々な番組でインパクトのある3Dグラフィックをリアルタイムにオンエアできる「リアルタイム3DCGレンダリングシステム」です。

3D-NIXUSは、特定のビデオカードやCPUを選ばない「マルチプラットフォーム」をコンセプトとしており、それぞれのプラットフォームの持つ特性にあわせ、最大限にパフォーマンスを発揮します。

また、当社のテロップシステムやスポーツシステムと同じ送出機「NIXY ACE」で、動作が可能です。

あらゆるシーンで活躍。

カメラセンサーとの連動により、バーチャルスタジオや、実映像上にバーチャル映像を挿入するバーチャルフィールドシステムとしてもご利用いただけます。

また、拡張現実(AR)システムとの連動により、インタラクティブなCG表現を演出することができます。



画像提供：日本テレビ放送網

純国産"xf.エンジン"を搭載。

3D-NIXUSは、3Dレンダリングエンジンとして、NIXUS独自のxf.エンジンを使用しています。このxf.エンジンにより、クオリティの高いグラフィックを効率的にHDで送出できます。

xf.エンジンは、スポーツシステムからバーチャルまでその用途を問わず使用でき、様々なハードウェアに対応する非常に汎用性の高いエンジンシステムです。独自で開発したエンジンだからこそ、あらゆるニーズに即座に応えることができます。日本製ならではの信頼性、カスタマイズ性の高さ、それが3D-NIXUSのコアエンジンです。



xf.Creator **xf.Composer** **xf.SDK**
MGL plug-in **xf.Online** **xf.Online SDK**
MGL Viewer **xf.Director** **xf.Core SDK**

用途に合わせたコンポーネント。

3D-NIXUSはデータ制作にxf.Creator、運用・送出時にxf.Composer、カスタマイズ時にはxf.SDKと、それぞれの現場ごとにコンポーネントが独立しています。デザイン・オンエアなど、それぞれの現場で他の現場の仕様を意識することなく運用することができます。

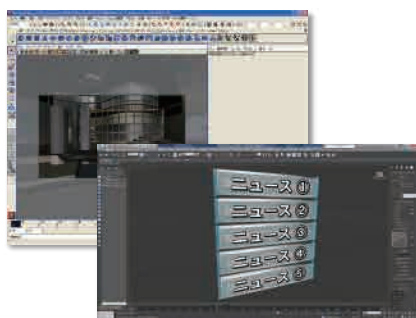
今お使いの3Dデザインツールが3D-NIXUSのオーサリングソフト。

3D-NIXUSの素材は3ds Max、Mayaにて制作できます。モデリング・マテリアル・アニメーション・キャラクターなど、3D-NIXUSの素材作成に必要な全てを、今お使いのソフト上で実現できます。多くのクリエイターに選ばれているグラフィックソフトに対応することで、進化のスピードが早いリアルタイム3DCG技術への柔軟な対応が可能です。

オンエア時の操作に必要なトリガーやアクションなどはNIXUS独自のプラグイン「MGL plug-in」上で設定できます。アクション、テクスチャーの貼り替えなど、ほとんどの設定が3ds MaxやMaya上で可能なため、お客様自身で素材を作成するときはもちろん、外注する場合でも納期を短縮でき、高いコストパフォーマンスを期待できます。送出の確認にはPC画面上でシミュレート可能な「MGL Viewer」を搭載。

3D-NIXUSは、あらゆる方がスムーズに素材を作成できるように、クリエイティブ環境も徹底して使いやすくします。

3ds Max・Maya対応



xf.Composerでスムーズにオンエア。

これまでのリアルタイム3DCGシステムの送出時の複雑な操作を、3D-NIXUSのオーサリングソフトxf.Composerはグラフィカルに、シンプルにしました。xf.Creatorで作成した素材の送出スケジュールリングから送出操作までをxf.Composerで実現します。

xf.Online

xf.Onlineは、様々な種類のグラフィックボードを1つのソフトウェアでレンダリング制御する、NIXUS標準のリアルタイム3Dレンダリングサーバアプリケーションです。

xf.Director

xf.Directorは、オンエア前に3Dグラフィックスをスケジュールリングして送出することができるソフトウェアです。スケジュール画面では、3ds MaxやMayaで作成したCGを簡単なGUIで操作します。パラメータを変えることで、作成した1つのCGを様々な形に流用できます。



xf.SDKで自由な拡張を。

3D-NIXUSは、お客様のあらゆるニーズに応えられるよう、xf.Online SDKとxf.Core SDKの2種類のSDKをご用意しています。

xf.Online SDK

送出オペレーションを独自の操作性にカスタマイズしたい場合には、xf.Onlineコントロール用のSDKとしてxf.Online SDKをご利用いただけます。VB、VCで独自の送出コントロールソフトウェアを構築できます。

xf.Core SDK

xf.Core SDKは、xfエンジンをダイレクトに、そしてシンプルにコントロールできる開発環境です。xf.Core SDKを使えば、xf.Onlineに頼らない独自のリアルタイム3Dレンダリングサーバアプリケーションを開発できます。

研究用途に、シミュレーションに、エンターテインメントシステムに。VCを使用した開発環境により、xf.Core SDKは3Dシステムの新たな可能性を提供します。

NIXUS AVR(オプション)でダイナミックな表現を。

NIXUS AVR(オプション)により、カメラセンサーを必要としないバーチャルシステムを実現します。

仮想カメラ制御を使ったダイナミックなカメラワークやARシステムを使ったインタラクティブなCG表現をカメラマンなしで行うことができます。



* 記載された内容は、改良のため予告なく変更することがあります。* NIXUSは北海道日興通信株式会社の登録商標です。
* その他記載された会社名、製品名等は各社の登録商標または、商標です。* 当カタログに記載の画像はイメージです。実際の画面、製品とは異なります。

NIXUS お問い合わせ先

北海道日興通信株式会社 www.nixus.jp
 〒060-0041 北海道札幌市中央区大通東7丁目12-33水野ビル
 ☎ 011-251-4251 ✉ media@hnikko.co.jp

日興通信株式会社 メディア事業部
 〒156-0054 東京都世田谷区桜丘1-2-22 www.nikkotelecom.co.jp
 ☎ 03-5451-1751 ✉ nixus@nikkotelecom.co.jp